

発行
北海道ポーランド文化協会

〒060-0018
札幌市中央区北18条
西15丁目3-19 安藤方
電話・FAX 011-556-8834
hokkaidopolandca@gmail.com

POLE

第93号 2018.1.25
北海道ポーランド文化協会 会誌

北海道ポーランド文化協会
東京事務所

〒107-0052
東京都港区赤坂9-6-29-309
音響計画(株) 霜田気付
電話 03-6804-1058
FAX 03-6804-6058

《第82回例会》

コルチャック先生:講演と映画の集い

講演「コルチャック先生の思想と生涯～子どもをいかに愛するか」

講師：塚本智宏（東海大学教授）

映画『コルチャック先生』1990 アンジェイ・ワイダ監督

会場：札幌エルプラザ 4F 大研修室

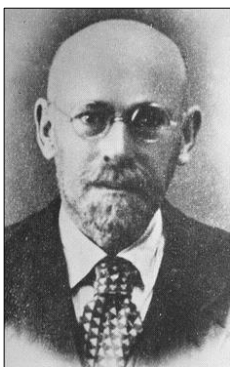
日時：2018年3月24日（土）13:30～16:50

入場無料・予約不要



1918年、今からちょうど百年前、Dr.コルチャックは『子どもをいかに愛するか』という本を出し、“子ども”は「不思議で生命に満ちあふれ、予期し得ぬ点で最高の輝きをもつ」「現代の学問が“知らない”そういう独創的なものを理解し、愛することを伝えたい」と述べました。

この本で彼は、それまでの人生で小児科医や青少年養育ボランティア活動家、孤児院の院長として「肉眼で」、つまりだれもができるやり方で観察してきた、赤ん坊から青年までの子どもたちについて深く書き記しています。



彼はこの本のずっと前から、子どもにはおとなが軽視している人間的価値があると考え、ポーランド独立を機におとなたちがそれぞれ自分の権利を叫ぶ中で、社会における子どもの権利を訴える、子どもの権利擁護官の立場をとりました。

そういう彼の思想と生涯を振り返ると、彼の晩年を描いたアンジェイ・ワイダ監督の映画『コルチャック先生』、とりわけ強制収容所に向かう“最後の行進”のシーンは、子どもの人間としての尊厳を訴えるコルチャックという人間（大人）の生き方を後世の人々の目に焼き付けるものになりました。

講演と映画上映に先だって一週間ほど、彼の思想や生涯についてのパネル展示も行います。ぜひ足をお運びください。（塚本智宏）

先行開催

〈パネル展示〉コルチャック先生の思想と生涯
～子どもをいかに愛するか～

会場：札幌エルプラザ 2F 交流広場（北8西3, JR札幌駅北口徒歩3分）

日時：2018年3月16日（金）～24日（土）8:45～22:00（日・祝20:00）